

政府と日本学術会議の新たな関係構築に向けての要望書

令和3年12月3日

内閣総理大臣 岸田文雄 殿

日本学術会議第183回総会

日本学術会議（以下「本会議」）は、昨年10月の第25期発足以来、日本学術会議法（以下「法」）に定められた定員を満たさない状態での活動を余儀なくされており、本年4月の総会における声明をはじめ累次にわたってこの問題が一日も早く解決されるよう任命権者である内閣総理大臣に求めてきました。

本会議の基本的な立場は前述の声明等に示しているとおりでありますが、本年10月に岸田文雄内閣総理大臣の下で新たな内閣が発足したこの機に、対話を通じてこの問題の解決を図り、政府と本会議が新たな関係を構築して共に歩みを進めていくことを望んでいます。今後長きにわたり法の定める定員を満たさぬ状態が続けば、本会議の活動に重大な支障を及ぼし続けることになり、日本の学術や社会の発展にとっても大きな障害になりかねません。

折しも、本会議は4月に「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」と題する報告を取りまとめ、科学的助言機能の強化をはじめとする取組を自主的に進めています。カーボンニュートラルや新型コロナウイルスへの対応など国民生活に大きな影響を与える様々な課題に直面する中、政府とアカデミアが建設的な信頼関係の下、より良い社会の実現に向けて力を合わせていきたいと強く願っています。会員の任命問題がその妨げとなってはなりません。

については、新たな内閣との未来志向の対話の第一歩として、できるだけ早期に、本会議会員の任命権者である岸田内閣総理大臣と本会議を代表する梶田会長との面談を実現し、会員任命問題を含む現下の様々な課題について率直な意見交換を行う機会とするよう、総会の総意として強く要望します。

(別添)

1. 第25期新規会員任命に関する要望書（令和2年10月2日・日本学術会議第181回総会）
2. 日本学術会議幹事会声明「日本学術会議会員任命問題の解決を求めます」（令和3年1月28日）
3. 声明「日本学術会議会員任命問題の解決を求めます」（令和3年4月22日・日本学術会議第182回総会）
4. 「日本学術会議のより良い役割発揮に向けて」（令和3年4月22日・日本学術会議第182回総会）
5. 日本学術会議会長談話「第25期日本学術会議発足1年にあたって（所感）」（令和3年9月30日）